



学校行事等、盛りだくさんの2学期が23日で終了します。終業式では、2学期にできるようになったところや不十分なところを考え、それを踏まえて、新年や3学期のめあてをもつように話をしようと思います。さて、新型コロナ感染の状況を見ると、先々週あたりから感染者が増加傾向にあります。市内には学級閉鎖をする学校も出ています。本校もこれを「他山の石」とし、感染予防に努めていきたいと思っています。

また、今週初めに、本校の子どもがインフルエンザに罹患したという情報も入ってきました。年末が近づくとつれて気ぜわしくなりますが、2学期もあと8日になります。みんなが元気に2学期の終業式を迎えられることを願っています。

お願いします！学校評価アンケート

例年、学校評価の資料として、保護者の方々にアンケートを実施しています。既に多くの方にご回答いただいておりますが、まだご回答いただいていない保護者の方は、次の日までをお願いします。

○令和4年12月23日(金)

※配付文書にあるQRコードや安心メールのURLから接続してご回答ください。



年末年始こそ家族と共に！ ～ゲームやネットにお守りをしてもらう危険性～



お仕事にもよりますが、今年は12月28日で仕事納め、明くる年は4日から仕事始めとなります。

年末は大掃除で忙しく、年始は仕事疲れを癒すときではありますが、子どもたちにとって、冬休みは親と家庭内外で行動を共にすることで、伝統文化を学び、社交性を養う機会となります。そして、家庭行事や一家団欒の中から、親や親族からの愛情を感じとれる機会でもあります。

したがって、子どもにかまっていられないからと、テレビやゲーム、ネットを見せることでお守りをしてもらおうとすると、思わぬ「落とし穴」にはまります。下の囲みはそのことについて警鐘を鳴らす記事です。ぜひ、親子のふれ合いを大切にしながら、良いお年を迎えていただきたいと思います。

ネット社会の今だからこそ、アナログな体験が必要

今の子ども達を見て、便利すぎる生活だと大人は思うかもしれないが、不便と便利の違いを体験していない世代には、判断基準がない。大人の思う様な危機感を持つことすら出来ないでいる。アナログ世代が、不便さを伝えなければ、危険に遭遇しても気付くことが出来ない。リスクを伝え、機械ではなく、自分自身で判断して行動できるよう、アナログな体験が必要なのだ。アナログもデジタルも、双方とも理解して使いこなせなければ、自分を守ることも出来ない。

凶悪な犯罪や不可解な事件が増えているのは、ネットによる偏った情報と、視覚的な影響が大きい。我が子に少しずつ歪が出ていても、家族すら気付いていないのではないだろうか。今一度、家庭での会話が、子どもの成長にどれほど大切かを考えて欲しい。

出典：『インターネット社会と人権～なにげない投稿から起きるトラブル～』NIT 情報技術推進ネットワーク(株)